

こどもモニターからの質問・意見に対する市担当者からのコメント

番号	モニターからの質問・意見	市担当者からのコメント
1	<p>人口の推移(年齢階級別の社会動態)について、10代後半の転出超過を減らし、20～30代の転入超過を増やしたいという説明だった。自分にとって興味のあることを学べる大学が八戸にはなく、10代後半の転出超過は仕方ないと思う。20～30代で、市外に出て色々と学んで力をつけた人を八戸に戻すことに力をいれた方が良いのではないか。</p>	<p>ご意見のとおりで、自分にとって興味があることを学ぶために大学を目指すことは大切なことであり、その市外での経験を踏まえて、八戸に戻ってきてくれることは、市の将来にとってプラスになります。</p> <p>そのうえで、20～30代の転入に向けた取組として、子育て支援や雇用創出など、八戸に戻ってきたいと思えるような取組をさらに進めていきたいと考えています。</p> <p>また、加えて、10代後半における八戸からの転出についても、少しでも抑制できるよう、八戸市で働きたい、学びたいと思えるような就業支援や大学でのカリキュラム編成など、若者のニーズに沿った取組を進めていきたいと思えます。</p> <p style="text-align: right;">(政策推進課・谷地主事)</p>
2	<p>八戸の観光業で、コロナ後、観光客が回復してきているとあるが、魅力ある宿泊施設や飲食店が不足しているように思う。</p>	<p>八戸市内には、中心街のほか種差海岸などにも、様々な飲食店がありますが、あまり広く知られていないお店も多くあります。</p> <p>こうした情報は、観光パンフレットや「VISIT はちのへ」のホームページ、SNSで紹介していますが、幅広い年代、地域の方にもっと知ってもらえるよう発信していきたいと思えます。</p> <p style="text-align: right;">(観光課・万谷主幹)</p>
3	<p>八戸の城下町の豆知識は、知らなかったので、面白かった。謎解きやスタンプラリーをすればみんなで楽しめるのではないか。</p>	<p>まちなかを歩きながら、中心街や八戸三社大祭などの情報を見て、知ってもらえることができるデジタルコンテンツを制作する予定です。</p> <p>誰もが楽しめるものになると思いますので、どんなものができるのか、楽しみに待っていてくれると嬉しいです。</p> <p style="text-align: right;">(観光課・高橋主幹)</p>
4	<p>美術館は敷居が高いと思っていたが、いろいろな取組について知る機会があり、ためになった。もっと多くの人に知ってもらうために、PRした方がいいと思う。</p>	<p>八戸市美術館について知ってもらえて、とても嬉しいです。</p> <p>当館での取組は、印刷物(ポスター、チラシ)やホームページ、SNS(Facebook、X、Instagram、Youtube)を活用して情報発信をしています。</p> <p>より多くの皆さんに知っていただけるよう、さらに力を入れて取り組んでいきたいと思えます。</p> <p style="text-align: right;">(美術館・田中総務経営グループリーダー)</p>

番号	モニターからの質問・意見	市担当者からのコメント
5	<p>中心街にマンションが多くなっている気がして、それでいいのか疑問に思っている。いろいろ考えてみたいが、中心街のまちづくりについて市の考え方を聞きたい。</p>	<p>中心街は、昔は、家族みんなで「買物」に出かける場所でしたが、今は、変化の真っ最中で、飲食店のほか、「はっち」や美術館、ホテル、オフィスといった色々なものが集まっています。このようにたくさんの機能が集まったことで、「暮らしやすい場所」として、中心街に住みたい人が増え、マンションが多く作られるようになりました。</p> <p>この流れは、人の考え方の変化や市場の原理により発生したものであり、このような変化の中で、どのように今後の「中心街のまちづくり」を考えていくかが大切となります。</p> <p>一方、「中心街のまちづくり」は、とても幅広いテーマで、市の職員だけではなく、地元の人や中心街に来る人も含め、多くの人が色々な形で、まちづくりに関わっています。</p> <p>「中心街を良くしたい」と活動する人や団体もたくさんいて、例えば、先日、中心街の「花小路」という場所で、小中学生が参加してフラワーポットへの植栽活動が行われましたが、こういった活動も「まちづくり」です。</p> <p>現在の中心街は、残念ながら、小学生から高校生までのこども・若者が楽しめる場所が少ないと感じていて、「ホコテン」とか「七夕まつり」といったイベントによって、皆さんの年代が集まったり、活動できる機会を作り、将来を含めて、皆さんが「まちづくりを行いたい」という、きっかけ作りをしたいと考えています。</p> <p>そして、中心街が皆さんの年代が集まる場所になることによって、皆さんの興味がわくようなお店が中心街に集まるという、良い循環ができればと考えています。</p> <p style="text-align: right;">(まちづくり推進課・和田中心市街地活性化グループリーダー)</p>
6	<p>八戸圏域ファームステイに興味がある。対象が中学生になっているが、自分は高校生だが、対象にしてほしい。</p>	<p>八戸圏域ファームステイ事業に興味を持っていただき、ありがとうございます。</p> <p>今年度はすでに中学生の皆さんを対象として募集を開始しており、定員に達してしまいましたので、来年度に向けて、対象を高校生の皆さんにも広げることを検討したいと考えています。</p> <p>なお、この事業に関係なく、ファームステイを試みたいと希望がありましたら、費用は全額自己負担となりますが、農家民宿を紹介することもできますので、農業経営振興センターまでお気軽にご連絡ください。</p> <p style="text-align: right;">(農業経営振興センター・戸田技査)</p>
7	<p>いかずきんズのぬいぐるみはどこで買えるのか？友達とかわいいと話していて、買おうと思ったか、どこで売っているか分からなかった。カバンにつける小さめのものなど、中心街で買えるところがあればいいと思う。</p>	<p>いかずきんズのぬいぐるみは、手のひら2つ分サイズのぬいぐるみ(大)と、手のひら1つ分サイズのぬいぐるみ(小)があり、ぬいぐるみ(小)はキーホルダーとしてもご使用いただけます。</p> <p>こうしたグッズは、市の許可のもと、民間事業者が制作しており、現在、ぬいぐるみ(大)はユートリーで、ぬいぐるみ(小)はグランドホテルで販売されていると聞いています。なお、どちらも在庫限りとなりますので、事前に電話などで確認していただければと思います。</p> <p>ぬいぐるみの他にも、タオルハンカチやアクリルスタンドなど様々なグッズが販売されています。詳しくは別添の一覧をご確認ください。</p> <p style="text-align: right;">(広報統計課・大西主事)</p>